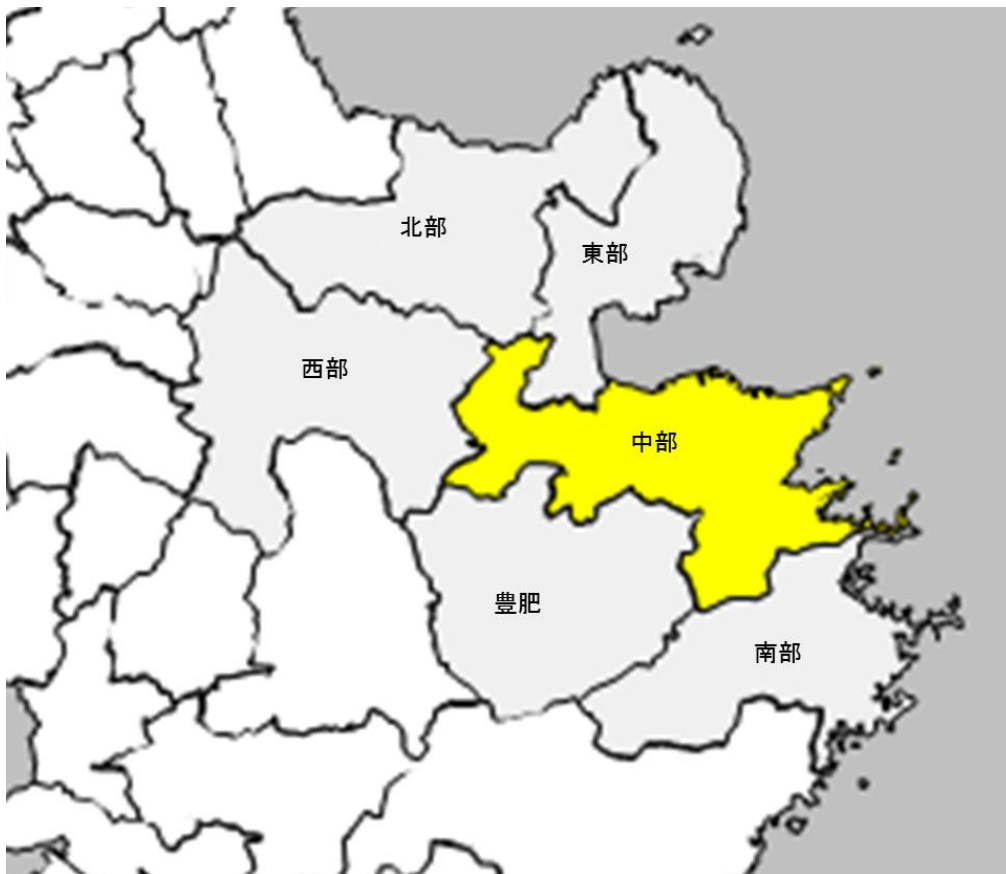


44. 大分県



4 4 大分県

A. 医療提供体制の現状

大分県の特徴は、(1) 多い病床数、看護師数、全国平均を下回る全身麻酔数、(2) 中部(大分)と東部(別府)への集中である。

(1) 多い病床数、看護師数、全国平均を下回る全身麻酔数

全県を通しての偏差値が病床数(60)、一般病床が(62)、病院勤務医(52)、全身麻酔数(47)、看護師数(63)と、病床と看護師は非常に多く、病院勤務医が全国平均をやや上回るが、全身麻酔件数が全国平均を下回る。

(2) 中部(大分)と東部(別府)への集中、

中部(大分)と東部(別府)は、隣接する医療圏であり、この2つの医療圏に、大分県の64%の人口が集中するが、病院勤務医の77%、全身麻酔の83%、総看護師の70%が集中している。特に東部(別府)は、病床数(72)、一般病床(74)、病院勤務医(59)、看護師数(75)と、過剰感が強い。

他の地域は、病床数と一般病床数と看護師は多いが、病院勤務医とDPC全身麻酔数が少ない、過疎地型の医療提供体制である。北部医療圏は東部への、西部医療圏と豊肥医療圏は、中部への依存が強い。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(東部)

東部(別府)は、中部(大分)に続く、大分県の医療拠点であり、北部からの患者の受診も多い。この地域の偏差値は、病床数(72)、一般病床(74)、病院勤務医(59)、看護師数(75)と、中部より病院勤務医の偏差値が高く、その結果、特に急性期病床の過剰感が強い。2010→35年の0-64歳の医療需要が19%減と全国平均より減少幅が少ないが、75歳以上の医療需要17%しか増えず、総医療需要は4%減という珍しいパターンである。将来に向けて、急性期病床の一部削減や療養、亜急性期、回復期への転換を中心に進め、高齢者向けの施設・住宅は状況に応じて調整することが必要だろう。

(中部)

中部(大分)は、大分大学や他の拠点病院が集まり、大分県の医療提供の中心であり、日田、豊肥を中心に、全県から患者が集まってくる。この地域の偏差値は、病床数(58)、一般病床(61)、病院勤務医(54)、全身麻酔数(52)、看護師数(61)と、高い医療資

源レベルである。2010→35年の大分県全体の総医療需要が9%増、0-64歳の医療需要が26%減、中部の総医療需要が11%増、0-64歳の医療需要が27%減、75歳以上が68%増を考えると、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換し、高齢者向けの施設・住宅の増強が求められる。

(南部)

南部(佐伯)の偏差値は、病床数(59)、一般病床(65)、病院勤務医(48)、全身麻酔数(39)、看護師数(64)と、一般病床と看護師数が特に多く、DPC全身麻酔数が非常に少ない。2010→35年の総医療需要が19%減、0-64歳の医療需要が45%減、75歳以上7%増を考えると、一般病床の一部を、削減または後期高齢者に対応する病棟に転換することが求められる。

(豊肥、)

大分県西部の山間地に広がる豊肥(武田)の偏差値は、病床数が(57)、一般病床数が(61)、病院勤務医が(39)、全身麻酔数(32)、総看護師数(54)と、病床数、一般病床数、看護師数は多いが、病院勤務医、全身麻酔数が非常に少ない。この地域の患者は大分に受診することが多い。2010→35年の医療の総需要が22%減、0-64歳が43%減、75歳以上が6%減であり、一般病床の一部を削減や地域内の集約、地域内と大分との連携を強化することによる急性期医療機能の維持を目指すべきであろう。

(西部)

大分県西南部の山間地に広がる西部(日田)の偏差値は、病床数が(58)、一般病床数が(52)、病院勤務医が(43)、全身麻酔数(40)、総看護師数(58)と、病床数、一般病床数、看護師数は全国平均を超えるが、病院勤務医、全身麻酔数が少ない。この地域の患者は大分に受診することが多い。2010→35年の医療の総需要が13%減、0-64歳が39%減、75歳以上が13%増であり、急性期病床の一部を療養、亜急性期、回復期への転換、地域内と大分との連携を強化することによる急性期医療機能の維持を目指すべきであろう。

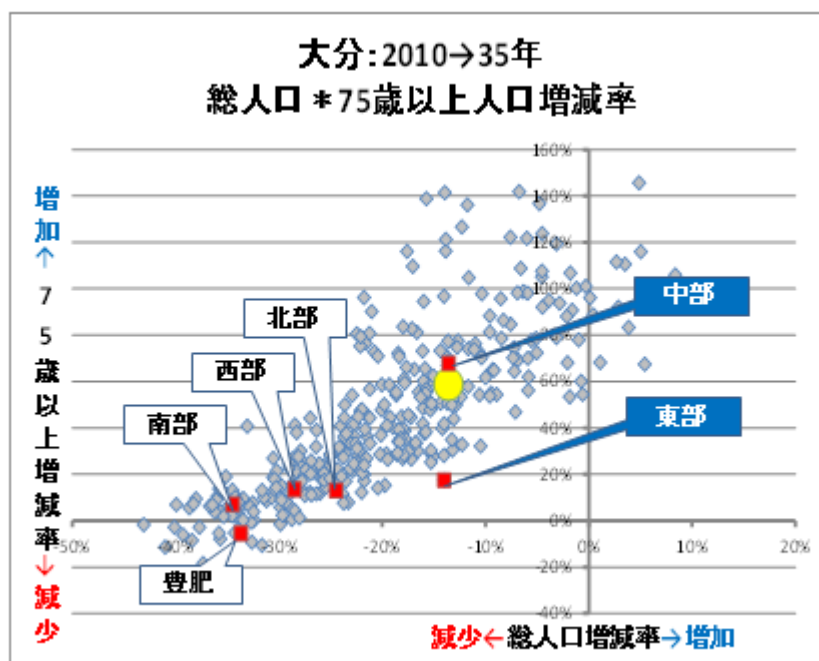
(北部)

北部(中津)の偏差値は、病床数(55)、一般病床(55)、病院勤務医(44)、全身麻酔数(43)、看護師数(58)と、病床数と一般病床と看護師が多めで、病院勤務医と全身麻酔数が少ない。2010→35年の総医療需要が11%減、0-64歳の医療需要が33%減、75歳以上13%増を考えると、一般病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換することが必要であろう。

表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
大分県	1,196,529	33位	6,340	22位	188.7		22%	-19%	32%
東部	219,880	18%	803	13%	273.8	地方都市型	29%	-14%	17%
中部	570,182	48%	1,191	19%	478.7	地方都市型	22%	-14%	68%
南部	76,951	6%	904	14%	85.2	過疎型	32%	-34%	7%
豊肥	63,875	5%	1,081	17%	59.1	過疎型	39%	-34%	-6%
西部	98,415	8%	1,224	19%	80.4	過疎型	30%	-28%	13%
北部	167,226	14%	1,137	18%	147.1	過疎型	29%	-24%	13%

図 44-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表44-1、表44-2、表44-5、図44-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図44-5)

表 44-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
大分県	21,712	1.3%	1,815	60	12,046	1.3%	1,007	62	17,833	1.3%	106	55
東部	5,329	25%	2,424	72	2,866	24%	1,303	74	3,854	22%	111	58
中部	9,691	45%	1,700	58	5,551	46%	974	61	6,968	39%	111	58
南部	1,367	6%	1,776	59	835	7%	1,085	65	1,449	8%	107	55
豊肥	1,060	5%	1,659	57	633	5%	991	61	1,579	9%	105	54
西部	1,689	8%	1,716	58	760	6%	772	52	1,282	7%	77	41
北部	2,576	12%	1,540	55	1,401	12%	838	55	2,701	15%	102	53

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 44-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

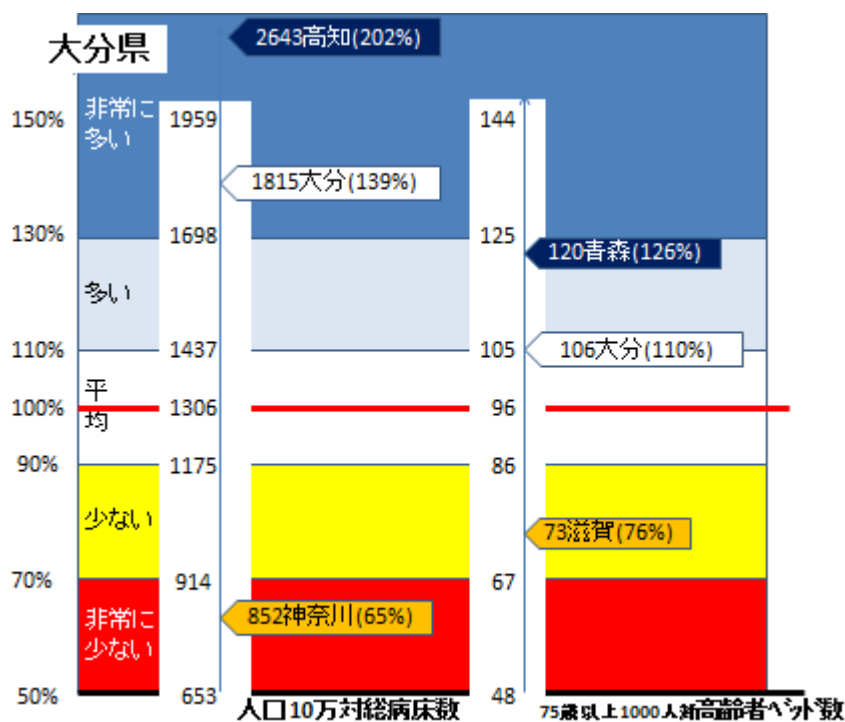


表 44-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
大分県	3,163	0.9%	264	50	1,003	1.6%	84	58	5,356	1.5%	448	58
東部	1,132	36%	515	62	258	26%	117	66	965	18%	439	58
中部	771	24%	135	44	505	50%	89	59	2,844	53%	499	61
南部	246	8%	320	53	102	10%	133	69	180	3%	234	48
豊肥	186	6%	291	51	25	2%	39	48	212	4%	332	53
西部	285	9%	290	51	73	7%	74	56	567	11%	576	64
北部	543	17%	325	53	40	4%	24	44	588	11%	352	54

表 44-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
大分県	1	0.5%	0.8	47	6	1.6%	5.0	56	1,429	1.6%	119	63
東部	0	0%	0	43	1	17%	4.5	55	345	24%	157	73
中部	1	100%	1.8	51	4	67%	7.0	61	700	49%	123	64
南部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	89	6%	115	62
豊肥	0	0%	0	43	0	0%	0	42	73	5%	115	62
西部	0	0%	0	43	1	17%	10.2	70	86	6%	87	55
北部	0	0%	0	43	0	0%	0	42	136	10%	81	53

表 44-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
大分県	1,571	1.0%	131	52	11,321	1.3%	946	63	14,166	0.8%	1,184	47
東部	378	24%	172	59	2,661	24%	1,210	75	2,720	19%	1,237	48
中部	826	53%	145	54	5,201	46%	912	61	9,058	64%	1,589	52
南部	85	5%	110	48	748	7%	973	64	394	3%	512	39
豊肥	42	3%	66	39	478	4%	748	54	0	0%	0	32
西部	84	5%	85	43	823	7%	836	58	632	4%	642	40
北部	156	10%	93	44	1,410	12%	843	58	1,362	10%	814	43

図 44-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

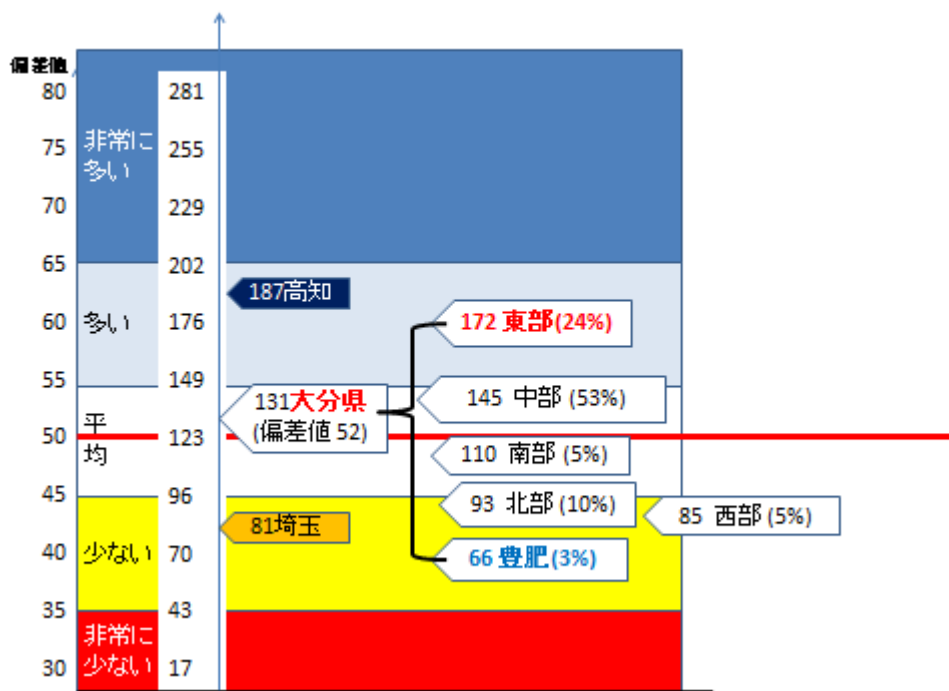


図 44-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数

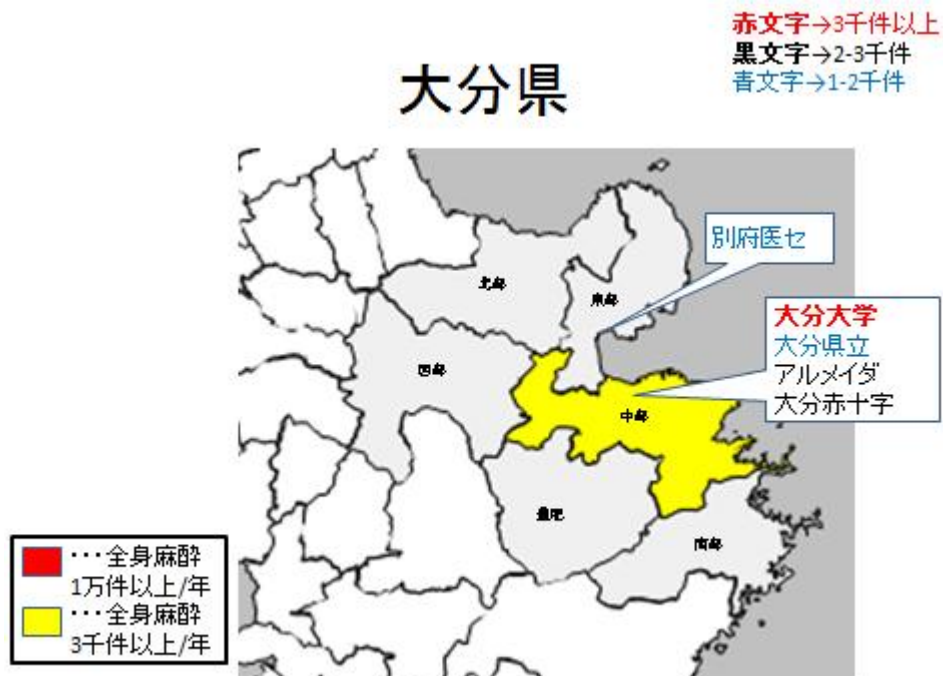


図 44-5 二次医療圏（流入出）

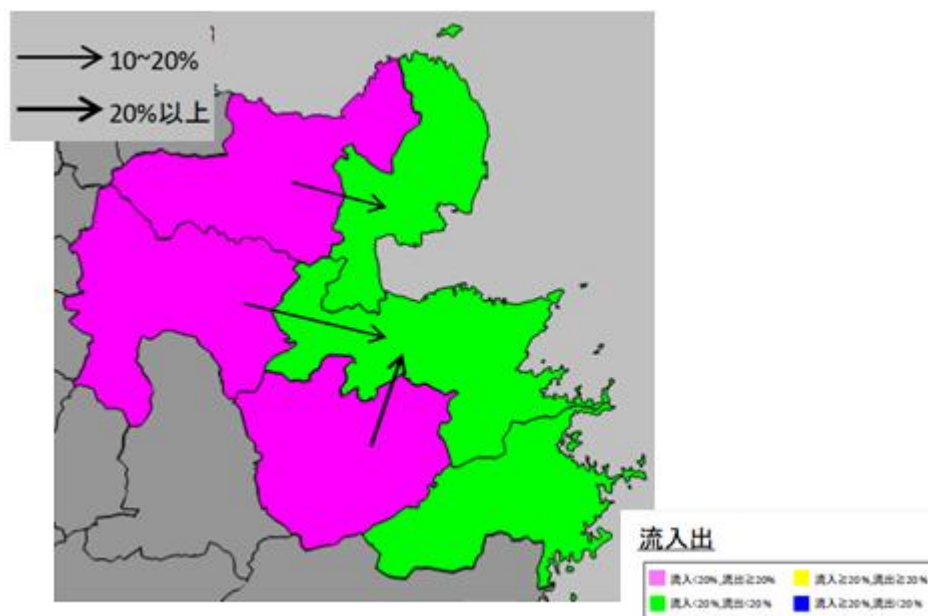


表 44-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
大分県	8,451	1.2%	50	50	3,939	1.3%	23	52	4,512	1.1%	27	49
東部	1,826	22%	53	52	804	20%	23	52	1,022	23%	30	51
中部	3,127	37%	50	50	1,462	37%	23	53	1,665	37%	27	48
南部	593	7%	44	45	290	7%	21	49	303	7%	22	44
豊肥	789	9%	52	52	375	10%	25	55	414	9%	27	49
西部	769	9%	46	47	360	9%	22	50	409	9%	25	47
北部	1,347	16%	51	51	648	16%	25	55	699	15%	26	48

表 44-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数合計	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値	有料老人ホーム計	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値	グループホーム	全国シェア県内シェア	75歳1,000人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
大分県	9,382	1.5%	56	56	5,054	2.1%	29.9	62	1,612	1.0%	9.5	47
東部	2,028	22%	59	57	859	17%	24.8	57	288	18%	8.3	45
中部	3,841	41%	61	59	2,196	43%	35.1	67	664	41%	10.6	49
南部	856	9%	63	60	545	11%	40.2	72	162	10%	11.9	51
豊肥	790	8%	52	54	398	8%	26.4	59	203	13%	13.4	54
西部	513	5%	31	42	213	4%	12.8	46	105	7%	6.3	42
北部	1,354	14%	51	53	843	17%	31.9	64	190	12%	7.2	43

表 44-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35総医療需要	2010→350-64歳医療需要	65-74歳医療需要	0-74歳医療需要(再計)	75歳以上医療需要	2010→35総介護需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
大分県		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
東部	2	-4%	-19%	-23%	-21%	17%	13%
中部	2	11%	-27%	-3%	-19%	68%	58%
南部	3	-19%	-45%	-35%	-41%	7%	2%
豊肥	3	-22%	-43%	-41%	-42%	-6%	-9%
西部	3	-13%	-39%	-27%	-34%	13%	9%
北部	3	-11%	-33%	-22%	-29%	13%	9%

図 44-6 大分県 2010年→35年介護医療需要の増減予測

